

もしも

2024

1

No. 58



月山から望む御来光

表紙 のことば



山の頂から朝日を望む。清々しいものです。

この時期、雲海から昇る朝日を見ると、餅に橙を重ねた正月の鏡餅飾りを連想します。一説によれば、鏡餅は元禄の頃からあるとも言われ、鏡餅の「鏡」は、「鑑みる（かんがみる）」から良い手本や規範に照らして考えること、丸い形は家庭円満、餅を重ねた姿には1年をめめでたく重ねる…、というように様々な意味が込められているそうです。

餅は稲作の技術と共に大陸から伝来したと言われています。米作りという農の技を継承していくと共に、新しい年の幸せを願う鏡餅の文化も次代へと伝えていきたいものです。
(佐藤泰仁農業委員)



年頭のごあいさつ

鶴岡市農業委員会

会長 石塚 治己

新年あけましておめでとうございます。

本市農業委員会も昨年11月26日より新たに第7期がスタートしております。全51名中26名が新任委員で、平均年齢も5歳下がったフレッシュな体制となっております。初総会において私が会長に選任されました。不肖ながら農業委員19名と農地利用最適化推進委員31名の力をお借りしながら、誠心誠意委員会業務に努めてまいりたいと思えます。

本年の干支は甲辰ですが、甲辰の年は草木が成長し勢いを増す年、力溢れる年、活気づく年になると言

われているようです。昨年は記録的な猛暑で、人にも農作物にも大変厳しい年でした。水稲や大豆の品質低下、収量減をはじめ、メロンやだだちゃ豆、ネギや、花きなどの園芸品目も大きな影響を受けました。さらに秋の降雪では特産の庄内柿などの果樹にも多大なる被害が出ております。温暖化が進むなか、本年も猛暑が心配されますが、農作物の順調な生育と農作業の安全を祈るばかりです。

農業委員会では、農地

行政を担うほか、農地利用の最適化や後継者育成などが主な業務になっていきますが、「人・農地プラン」が

法定化され、地域農業の将来像である「地域計画」の策定やその農地利用のもととなる目標地図の素案作りに取り組むことが求められています。高齢化が進む中、10年後の計画は立てられないという話も多く耳にしますが、持続可能な農業・農村を創るため委員全員が一体となり、農業者の皆様と対話を重ねてまいりる所存です。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



皆川市長に
要望書を提出

農業委員会では、農業者の声を施策に反映してもらうために、市や県等への要望活動を行っています。

10月30日、農業委員会の4役が皆川治市長を訪問し、以下2件を要望しました。併せて、市の農政について幅広く意見交換を行いました。

■化学肥料の価格高騰に対応する生産コストの削減策への支援を求める要望書

■地域農業の持続的発展につながる支援を求める要望書

今後も、農業者の声を広くくみ上げながら、引き続き課題解決に向けて取り組んでまいります。

祝

渡部前会長が農林水産大臣表彰を受けました



11月13日開催の山形県農業委員会大会において、前会長の渡部長和氏が農林水産大臣表彰を受けました。平成8年に農業委員に就任し、平成29年からは会長を務めながら、市の農地行政や農業振興、農業者年金の加入推進等に尽力されました。また、前農業委員の齋藤力氏、農業委員の五十嵐覚氏、農地利用最適化推進委員の石川守氏が、農業会議会長表彰を受けました。

東部農地部会 << 藤島、羽黒、櫛引、朝日地域を担当します >>



まるやま しんいち
丸山 伸一
(羽黒/荒川)



すがわら hitoshi
菅原 仁
(羽黒/赤川)



こんの まさよし
金野 匡良
(羽黒/猪俣新田)
部会長職務代理者



いしい みつあき
石井 光明
(藤島/添川)
部会長



くどう ひさこ
工藤 久子
(藤島/藤島)
会長職務代理者



いとう ゆきこ
伊藤 由紀子
(朝日/熊出)



のむら めぐみ
野村 恵
(櫛引/丸岡)



こばやし ひろし
小林 博
(櫛引/黒川)



すずき さとし
鈴木 聡
(櫛引/松根)



わたなべ おさむ
渡部 修
(羽黒/高寺)

西部農地部会 << 鶴岡、温海地域を担当します >>



さとう こう
佐藤 晃
(鶴岡/中清水)



いしづか はるき
石塚 治己
(鶴岡/三瀬)
会長



まつもと のりこ
松本 典子
(鶴岡/文園町)



あべ こうじ
阿部 晃士
(鶴岡/谷定)



はらだ まさゆき
原田 政幸
(鶴岡/福田)
部会長



いがらし さとる
五十嵐 寛
(温海/関川)
部会長職務代理者



さとう はるひさ
佐藤 治久
(鶴岡/下小中)



さとう たいじん
佐藤 泰仁
(鶴岡/馬町)



おざわ ゆうた
荻原 優太
(鶴岡/大山)



たざわ ゆきひろ
田澤 幸弘
(鶴岡/下清水)

新農業委員の紹介

農地の貸し借り、売買、転用など、農地に関することはお気軽にご相談ください。

氏名
地域/住所
役職名

※会長、会長職務代理者、東西の部会長、同部会長職務代理者、担い手専門委員長(須田進二推進委員)、農業振興専門委員長(鈴木聡委員)、広報編集委員長(荻原優太委員)、調整委員会連絡会議正副会長(正:榎本勝推進委員、副:清野吉喜推進委員)、女性委員代表(伊藤由紀子委員)の12名は、運営委員として農業委員会業務の運営を担います。

新農地利用最適化推進委員の紹介

鶴岡地域1
鶴岡・齋・黄金・栄・京田



こみなみ たかし
小南 賢史
(覺岸寺)



さいとう じゆんこ
齋藤 潤子
(新海町)



すだ しんじ
須田 進二
(中京田)



さいとう やすし
齋藤 靖
(神明町)



わたなべ のぶこ
渡部 信子
(我老林)

鶴岡地域2
湯川・川・大泉・豊浦・上郷



さとう けいすけ
佐藤 圭介
(中山)



ほせがわ ひろゆき
長谷川 浩之
(水沢)



よしずみ よしゆき
吉住 喜之
(白山)



えのもと まさる
榎本 勝
(少連寺)

鶴岡地域3
大山・西郷・湯野浜・加茂



たむら ありま
田村 亮真
(長崎)



こばやし よしみち
小林 節徑
(下川)



いけだ けんなり
池田 賢成
(千安京田)



のむら ひとし
野村 仁
(平成町)

藤島地域



さいとう こう
齋藤 功
(八色木)



いしかわ まもる
石川 守
(野田目)



いのうえ かつひろ
井上 克浩
(渡前)



もり しゅうひろ
森 秀弘
(長沼)

羽黒地域



さいとう まさのぶ
齋藤 政伸
(松尾)



しんたて のぼる
新館 登
(川代)



さいとう かずひろ
齋藤 和博
(野荒町)



さいとう まりこ
齋藤 万里子
(川代)

櫛引地域



くろい りょうこ
黒井 涼子
(東荒屋)



とがし はじめ
富樫 初
(下山添)



かわい けんじ
河井 健次
(桂荒俣)



すがわら てるやす
菅原 輝康
(馬渡)

氏名
住所

温海地域



いとう みつぐ
伊藤 貢
(越沢)



ほんま ながし
本間 長志
(山五十四)



さとう のぶお
佐藤 宣夫
(木野俣)



さいとう ち
齋藤 智
(倉沢)



せいの よしき
清野 吉喜
(越中山)



わこう まさひと
若生 正人
(下名川)

朝日地域



ほ場を案内いただきながら真剣に話を聞きます

～ワッツ・ワッツ・ファームさんに 鶴岡産小麦の取組みを学ぶ～

(食育地産地消専門委員会研修)

10月31日、砂地で小麦栽培に挑戦している佐藤公一氏(西郷)のほ場を見学。その後、スマート・テロワールの取組み等について研修しました。

委員18名で組織する食育地産地消専門委員会で、意欲的に小麦栽培に取り組み佐藤氏のほ場を見学させていただきました。

国産小麦への関心や将来的な耕作放棄地対策として、「ゆきちから」をはじめとする品種を9月の播種から6月の収穫までの栽培に昨年からの取り組みでいます。東北各県に比べ、山形県は作付面積が小さいことや反収と品質(高タンパク)が課題とのことでした。

また、庄内スマート・テロワール(庄内産小麦が消費者まで届く取り組み)を、小川製粉(株)の小川祐史氏から説明いただき、契約栽培による小麦の製粉から、給食の中華麺や地元製麺店での麦きりへの使用、ラーメン店等での使用に繋がっている話を伺いました。今後、農業者をはじめ、飲食店などの関係者や消費者の方々にも、地産地消への理解が進めば嬉しいですね。

(萩原優太農業委員)



積極的に質問中

やまがた農業支援センターからお知らせです

令和7年から農地中間管理事業の利用には『手数料』のご負担をお願いします

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることいたしました。

◎手数料の概要

- 対象は令和6年10月以降に公告になる満期再契約及び、更新・新規契約から。(直ちに全契約が対象になる訳ではありません)
- 実際に納付いただくのは令和7年の賃料の支払い時点から。
- これ以降毎年、農地の出し手、受け手のそれぞれから納付。
- 手数料の金額は毎年の賃料に0.75%を掛けた額。(賃料1万円の場合の手手数料は75円)

◎手数料納付のイメージ

(※10aあたり賃料が年間10,000円の場合の手手数料は75円)



詳しくは やまがた農業支援センター (023-631-0697) 又はセンターのホームページをご覧ください

女性農業委員北海道・東北ブロック研修 in 秋田

11月7日、秋田市で開催された令和5年度北海道・東北ブロック女性委員研修に委員2名が参加しました。

研修では、農業委員、農地利用最適化推進委員が、地域で果たすべき役割や現在進められている地域計画への関わり方への基調講演や事例発表が行われました。特に地域計画については、話し合いの場に女性や若者、夫婦での参加を促すと、多様性が組織を活性化し、新しい活動が生まれやすいとのお話があり、より良い地域計画を策定するためには地域みんなで取り組んでいかなければと認識しました。質疑応答では活発な意見が交わされ、他県の

委員の意識の高さ、地域への思いが感じ取れた研修会でした。

(工藤久子農業委員)



加入して
います

農業者年金

榎引 丸岡

前田 恭輔さん (33歳)

けがの功名？

榎引地区丸岡に暮らす前田恭輔さんは、地元企業に就職し11年間サラリーマンとして勤めました。しかし、会社で怪我をして2週間ほど大事をとって休んでいた時に、リハビリを兼ねて農業を手伝って見たところ、「楽しい、やりがいがある」と感じたことから4年前に離職、就農しました。小さい頃から農繁期には手伝いをしてきたそうです

が、改めて仕事としてやってみると興味が湧いて、就農に繋がりました。そんな前田さんは、前推進委員で父の浩さんと妻の3人で水稲11ha、スプレー菊900坪(2作)シイタケ50坪(秋冬)を栽培しています。特にスプレー菊に力を入れていて、3月の定植から11月の最後の収穫まで10数棟あるハウスをフル稼働で回しています。

農業者年金は親子三代

農業者年金には父の勧めで加入しました。父も祖父から加入を勧められたそうで、まさに親から子へ、子から孫へという理想的な形です。老後の保障はもちろん、節税効果、運用リスクが少ない、掛金の



満開までもう少し...



笑顔が素敵な2人でした

融通がきくなど、大きなメリットを感じています。また、保険料の国庫補助が魅力で、政策支援により年金加入しています。

子育てと農業

年間を通して作物を栽培しているのですが、休みが取りづらいたところですが、時間を見つけては4歳と1歳の子供と公園で遊んだりしているそうです。忙しい中にもやりがいを感じていて、現状の規模で歩留りを向上し、効率を高めた意気込みを語ってくれました。(鈴木聡農業委員)

あ と が き

昨年は、記録的な猛暑により白未熟粒が多数発生し、米の一等米比率が過去最低となりました。県内では庄内産が最も低いようでしたが、食味には影響がなく、いつも美味しく食べています。また、果物や野菜には日焼けや生育不良が発生し、秋には鮭の遡上も減るなど、様々なところに猛暑の影響が出た年となりました。今年の夏はどうなることやら…。

(丸山成章前農業委員)

農業者年金は 若い農業者の方に おすすめ

- 1 35歳未満は1万円から加入可能
- 2 認定・青申で国庫補助による手厚い支援
- 3 保険料控除など税制面での優遇措置○

※加入には一定の要件を満たす必要があります。
※詳細はお近くのJA各支所、農業委員会事務局・各分室まで!

鶴岡市農業委員会事務局

〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25(鶴岡市藤島庁舎内) ☎64-5868(直) FAX.64-5846
○鶴岡分室 35-1297 ○羽黒分室 62-2527 ○榎引分室 57-2114 ○朝日分室 53-2117 ○温海分室 43-4616
<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouiinaki/index.html> 発行/年3回(1・4・9月)



バック
ナンバーは
こちらから